愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	吉村 道孝	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習I･IIを通じて、各学生が興味を持って研究できるテーマを見出し、卒業論文の作成について学習することを目的とする。研究テーマの内容は、人間のこころや行動について考える。例えば、教育現場の問題（いじめ、不登校、非行、暴力、発達障害等）、心の病の問題（うつ、自殺等）、社会の問題（ジェンダー、DV等）、自己の問題（自信のなさ、自己尊重感、自己概念等）、これらの領域を中心とする。 研究テーマを探す方法としては図書館での本や論文の検索、インターネットでの検索等を行い資料の取り寄せが行えるようになる。専門演習IIでは特に調査の実施とデータ分析を行って研究成果をまとめることとする。 なお、心理コースの全体講義はオンライン授業（リアルタイム）で実施し、各担当教員による個別演習は対面での指導とオンライン授業（リアルタイム）を使い分けて実施する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義と演習形式で授業を行う。なお、心理コース全体講義はオンライン授業（リアルタイム）で実施する一方、個別の演習活動においては対面授業とオンライン授業（リアルタイム、オンデマンド）を必要に応じて使い分ける。 専門演習IIではアンケート・インタビュー等のデータを使う研究を小グループで行う。全体での講義をはさんで、グループで研究テーマの決定、論文の作成（問題、方法、結果、考察）へと進む。発表内容の共同制作とディスカッションを経て研究成果をパワーポイントにまとめ、最後に各グループがプレゼンテーションを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	全体講義Ⅰ　調査をするということ・構想を考える・先行研究を探す	１．データを使って論文を書くということ　２．論文の構成 ３．目的、方法の書き方	□
第2回	個別演習Ⅰ（１）テーマを決定し構想を考える	テーマを決め、どのような調査をするか考える	□
第3回	個別演習Ⅰ（２）質問紙、インタビュー項目を考える	具体的な質問紙・インタビュー項目を作成する	□
第4回	個別演習Ⅰ（３）調査の実施１	アンケート調査、インタビュー調査を実施する１	□
第5回	個別演習Ⅰ（４）調査の実施２	アンケート調査、インタビュー調査を実施する２	□
第6回	全体講義Ⅱ　データ分析の仕方	データ分析と結果、考察の書き方を講義する	□
第7回	個別演習Ⅱ（１）データ分析	各グループでデータの分析を実施する	□
第8回	個別演習Ⅱ（２）データの分析と結果の作成	データ分析の結果から結果を作成する	□
第9回	個別演習Ⅱ（３）分析表、グラフ等の作成	結果を表やグラフを用いて見やすい形で表示する	□
第10回	個別演習Ⅱ（４）考察	先行研究、調査結果を使って考察を書く	□
第11回	全体講義Ⅲ　発表の仕方	全体のまとめ方と分かりやすいプレゼンテーションについて講義する	□
第12回	個別演習Ⅲ（１）主要な結果の選択とプレゼンテーション資料作成	発表時間や聞き手への伝え方を考えてグループでの発表内容をパワーポイントで作成する	□
第13回	個別演習Ⅲ（２）個別演習内での発表	各担当教員による個別演習内で発表する	□
第14回	全体講義Ⅳ　グループ発表と全体の講評	１．各グループが発表する　２．全体で振り返りを行う	□
第15回	４年生発表会への参加	４年生が実施する発表会に参加する	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

心理や生活、社会について関心のあるテーマを調べておく。次の授業に向けて必要な論文・資料の収集、読み込み、整理などをしてくること。

（2時間） 事後学習として、授業内で提示された内容や収集した論文・資料の振り返りと研究発表資料の作成に向けた準備をすること。（2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回、講義後に進捗状況の報告が課され、次回の授業の冒頭で講評する。研究発表の資料作成について適宜指導・助言を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	テーマの設定、質問項目の作成、調査の実施、データの分析、論文作成、研究発表等、問題意識を持って積極的に課題に取り組むことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

演習科目であるので、グループワーク・ペアワークなどの取り組む姿勢を「その他」として評価とする。また、毎回振り返りや小レポートをおこない、理解力や達成度を「授業内試験」として評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		